



平成24年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月13日

上場取引所 福

上場会社名 メディアファイブ株式会社
 コード番号 3824 URL <http://www.media5.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年10月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 上野 英理也
 (氏名) 吉行 亮二

TEL 092-762-0555

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第1四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成23年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第1四半期	218	—	△14	—	△10	—	△10	—
23年5月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24年5月期第1四半期 △12百万円 (—%) 23年5月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第1四半期	△2,383.89	—
23年5月期第1四半期	—	—

平成24年5月期第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年5月期第1四半期累計期間の数値は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年5月期第1四半期	395	282	71.3	66,632.16
23年5月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 24年5月期第1四半期 282百万円 23年5月期 一百万円

平成24年5月期第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年5月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年5月期	—	—	—	—	—
24年5月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	445	—	△12	—	△9	—	△11	—	△2,595.56
通期	980	—	4	—	8	—	4	—	943.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成24年5月期第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、増減率は記載しておりません。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年5月期1Q	4,468 株	23年5月期	4,468 株
② 期末自己株式数	24年5月期1Q	230 株	23年5月期	230 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年5月期1Q	4,238 株	23年5月期1Q	4,238 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】2ページ「1. 当四半期の業績等に関する事項(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、本年3月に発生した東日本大震災により落ち込んだ生産活動に回復の動きが見られた一方、米国債の格下げによる急激な円高、海外経済の減速、更なるデフレの継続から景気の先行きに不透明感が強まってまいりました。

当社の属する情報サービス業界は、依然、企業はIT関連投資を抑制する傾向にあり、ソフトウェア関連投資に関しましても、予算枠の縮小等により、厳しい環境で推移しております。

このような環境の中、SI事業SIグループは、東京地区において企業からのITエンジニアの需要は増加傾向にあり、福岡地区で就業できていないITエンジニアを東京地区にスライドさせたことにより売上高が増加いたしました。今後もこの傾向は続くことが想定されるため、緊急人材育成支援事業訓練を含めたITエンジニアの育成に注力してまいります。また、SI事業ソリューショングループは、お客様（エンドユーザー）への営業力・提案力の強化を行い、受注案件獲得に向けた提案数を増加させております。

しかしながら、SI事業ソリューショングループの受注件数及びBakoon!!サービスの契約件数の進捗が伸びていないことに加え、販売費及び一般管理費の圧縮が遅れております。

なお、ITエンジニアの確保を目的に、稼働の無いITエンジニアに対して、休業及び教育訓練を実施いたしました。これにより、雇用調整助成金等の助成金収入として営業外収益4,273千円を計上しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高218,566千円、売上総利益75,295千円、営業損失14,764千円、経常損失10,386千円、四半期純損失10,102千円となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

セグメント別の状況は次のとおりであります。（各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。）

①SI事業SIグループ

SIグループにおいては、稼働者数114名からスタートし、当第1四半期連結会計期間末においては稼働者数が120名と増加いたしました。東京地区を中心に企業からの需要も好転しており、稼働の無いITエンジニアを東京地区にスライドさせることで売上高を増加させました。また、スクール事業で実施しております緊急人材育成支援事業訓練を受けた優秀な訓練生を当社の社員に登用したことと、平成23年4月入社の社員の育成も進んでおり、今後も東京地区を中心にITエンジニアの増加が見込まれます。その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は171,503千円、セグメント利益は40,889千円となりました。

②SI事業ソリューショングループ

ソリューショングループにおいては、地場企業の受託開発案件が縮小傾向にありますが、東京本社のカヤノンITソリューションズ株式会社からの受託開発案件プロジェクトが進行しており、受託開発案件については、総じて適正にプロジェクト運営ができております。Bakoon!!サービスにおいては、営業戦略の再考・メディア戦略等を実施しましたが、契約件数の進捗が遅れております。その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は19,832千円、セグメント損失は10,798千円となりました。

③スクール事業

スクール事業においては、ITプロ育成スクールにおいて、緊急人材育成支援事業訓練を福岡県福岡市と東京都港区で行っております。一般的に緊急人材育成支援事業訓練に取り組む企業が増加していることと、緊急人材育成支援事業訓練のコースが多様化しており、訓練生の確保が難しい局面もありますが、訓練生から当社の社員に登用する取組みを強化しております。その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は10,710千円、セグメント損失は5,887千円となりました。

④工事関連事業

工事関連事業においては、福岡県の各種テナント・賃貸ビル等の内装工事・外装工事を中心に安定的に受注できております。その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は16,533千円、セグメント利益は421千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産・負債・純資産の状況

(資産)

資産合計は395,802千円、うち流動資産291,872千円、固定資産103,929千円となりました。

その主な内訳は、流動資産については現金及び預金136,764千円、売掛金99,627千円、未収入金23,172千円等です。固定資産については有形固定資産25,379千円、無形固定資産8,665千円、敷金及び保証金38,767千円、投資有価証券27,400千円等です。

(負債)

負債合計は113,415千円、うち流動負債は94,957千円、固定負債は18,458千円となりました。

その主な内訳は、流動負債については買掛金13,038千円、未払金25,126千円、未払費用17,333千円等です。固定負債については長期借入金18,458千円です。

(純資産)

純資産合計は282,387千円、うち株主資本285,027千円、評価・換算差額等△2,640千円となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っていません。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年7月13日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間
 (平成23年8月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	136,764
売掛金	99,627
商品及び製品	6,500
仕掛品	13,038
原材料及び貯蔵品	1,626
未収還付法人税等	4,974
繰延税金資産	54
その他	29,700
貸倒引当金	△413
流動資産合計	291,872
固定資産	
有形固定資産	25,379
無形固定資産	8,665
投資その他の資産	
敷金及び保証金	38,767
その他	32,204
貸倒引当金	△1,087
投資その他の資産合計	69,884
固定資産合計	103,929
資産合計	395,802
負債の部	
流動負債	
買掛金	13,038
1年内返済予定の長期借入金	11,808
未払法人税等	1,369
未払消費税等	7,277
賞与引当金	10,015
繰延税金負債	82
その他	51,366
流動負債合計	94,957
固定負債	
長期借入金	18,458
固定負債合計	18,458
負債合計	113,415

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間
(平成23年8月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	175,825
資本剰余金	141,525
利益剰余金	△23,499
自己株式	△8,823
株主資本合計	285,027
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△2,640
その他の包括利益累計額合計	△2,640
純資産合計	282,387
負債純資産合計	395,802

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
売上高	218,566
売上原価	143,270
売上総利益	75,295
販売費及び一般管理費	90,060
営業損失(△)	△14,764
営業外収益	
受取利息	1
助成金収入	4,273
雑収入	248
営業外収益合計	4,524
営業外費用	
支払利息	125
雑損失	20
営業外費用合計	146
経常損失(△)	△10,386
特別利益	
負ののれん発生益	533
特別利益合計	533
税金等調整前四半期純損失(△)	△9,852
法人税、住民税及び事業税	305
法人税等調整額	△54
法人税等合計	250
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△10,102
四半期純損失(△)	△10,102

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△10,102
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△2,640
その他の包括利益合計	△2,640
四半期包括利益	△12,742
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△12,742
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。